

給管鳥データ抽出ツール 操作マニュアル

日本医師会 ORCA 管理機構(株)

目次

1はじめに.....	2
1-1データ抽出概要.....	3
1-2 各部の名称と概要.....	5
1-2-1メイン画面.....	5
1-2-2メニュー構成.....	5
2基本操作.....	6
2-1給管鳥(標準インストール)からのデータ抽出.....	6
2-2標準的なインストール以外でお使いの場合.....	8
2-2-1給管鳥が複数インストールされている場合.....	8
2-2-2給管鳥フォルダがCドライブ直下以外に存在する場合.....	9
2-2-3給管鳥をインストールしたPCの1台をデータベースサーバとして利用している場合.....	9
2-2-4画面を初期化する.....	10

1はじめに

本マニュアルは、給管鳥から給管帳クラウド版へマスタデータのデータ移行を行うにあたり、給管鳥(オンプレ版)からデータを抽出する際に使用する[給管鳥データ抽出ソフト (以下、本ソフト)]の操作マニュアルです。

・給管鳥の対象バージョン

給管帳クラウド版へデータ移行が可能な給管鳥]の対象バージョンは下表になります。

対象バージョン以前の「給管鳥」をお使いのお客様は対象バージョンへのアップグレードを行ってください。

対象バージョン	給管鳥 7.3.0以上
---------	-------------

PCの推奨スペック

OS	Windows 7 / 8 / 10
CPU	OS及びブラウザの動作条件を満たせば制限はありません。
ディスプレイ	解像度1024X768以上 (拡大表示:100% 文字の大きさ:中)

※Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標又は商標です。

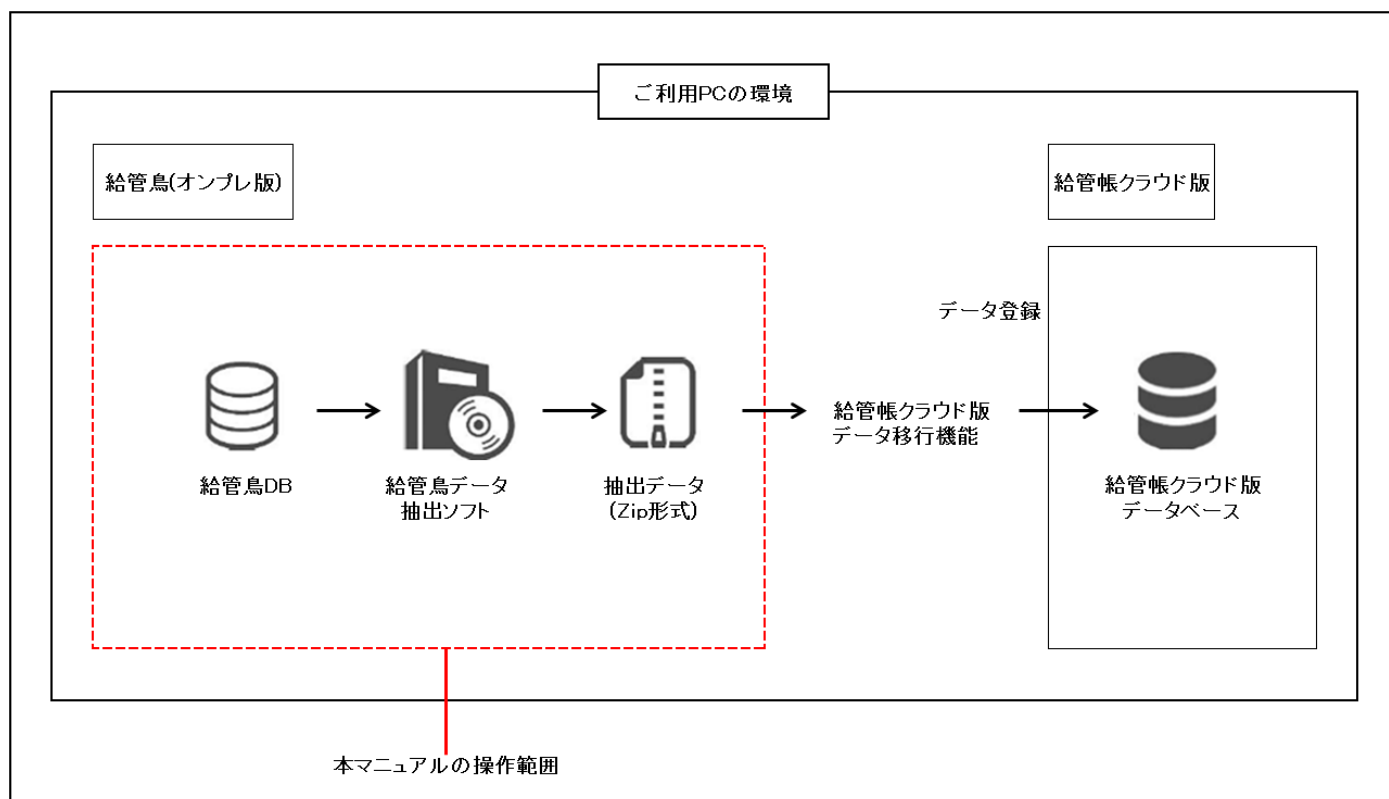
【データ抽出・移行作業をする前に必ず下記をご確認ください】

- ・ オンプレ版で郵便番号が入っていないとクラウドで修正していただく必要があります。
オンプレ版で郵便番号が入っていない利用者は、事前に登録等をおこなってください。
- ・ オンプレ版で郵便番号が入っていない状態でデータ移行をされた場合、「丁目・番地」の位置に登録住所が表示され、そのまま登録ボタンを押しても登録できません。
(利用者の基本情報の登録は、「住所」「市区町村」が入力されていないと登録できないため)
- ・ オンプレ版で郵便番号が入っていない状態でデータ移行した場合、「丁目・番地」の位置に住所が表示されますが、住所が入力されている状態で郵便番号を入れ直してエンターキーを押してしまうと、移行された住所は消えるので、消したくない場合は、エンターキーを押さずに郵便番号を入れて、全ての住所を入力後、登録してください。

1-1データ抽出概要

本ソフトでは、給管帳クラウド版へのデータ移行を行う前段階として、ご使用中の給管鳥から移行対象のマスタデータを抽出します。

抽出したデータは「給管帳クラウド版」のデータ移行機能を使用し、給管帳クラウド版に移行します。



本ソフトでのデータ抽出からデータ移行までの概要

データの抽出範囲について

「給管鳥」らのデータ抽出の範囲は、下表のとおりです。

No	データ種類	データベースのテーブル名
1	定型文	FIXED_FORM
2	保険者	INSURER
3	保険者支給限度額	INSURER_LIMIT_RATE
4	保険者支給限度額詳細	INSURER_LIMIT_RATE_DETAIL
5	保険者単位数単価	INSURER_UNIT_PRICE
6	保険者単位数単価詳細	INSURER_UNIT_PRICE_DETAIL
7	総合事業サービスコード	M_SJ_SERVICE_CODE
8	総合事業サービスコード取込履歴	M_SJ_SERVICE_CODE_HISTORY
9	利用者	PATIENT
10	利用者認定履歴	PATIENT_NINTEI_HISTORY
11	利用者施設履歴	PATIENT_SHISETSU_HISTORY
12	利用者住所地特例	PATIENT_JUSHOTI_TOKUREI
13	利用者公費	PATIENT_KOHI
14	事業所	PROVIDER
15	事業所提供サービス	PROVIDER_SERVICE
16	事業所提供サービス詳細1	PROVIDER_SERVICE_DETAIL_DATE
17	事業所提供サービス詳細2	PROVIDER_SERVICE_DETAIL_TEXT
18	事業所提供サービス詳細3	PROVIDER_SERVICE_DETAIL_INTEGER
19	スタッフ	STAFF
20	医療機関情報	MEDICAL_FACILITY
21	居宅療養管理指導書	KYOTAKU_RYOYO

※本ソフトについての注意点

本ソフトによるデータ抽出時は、すべての給管鳥のアプリケーションを終了してください。

また、給管鳥(オンプレ版)で入力していたサービス実績、利用者情報詳細の「異動情報」の移行はできませんのでクラウドへ移行後、手入力をお願い致します。

1-2 各部の名称と概要

1-2-1メイン画面

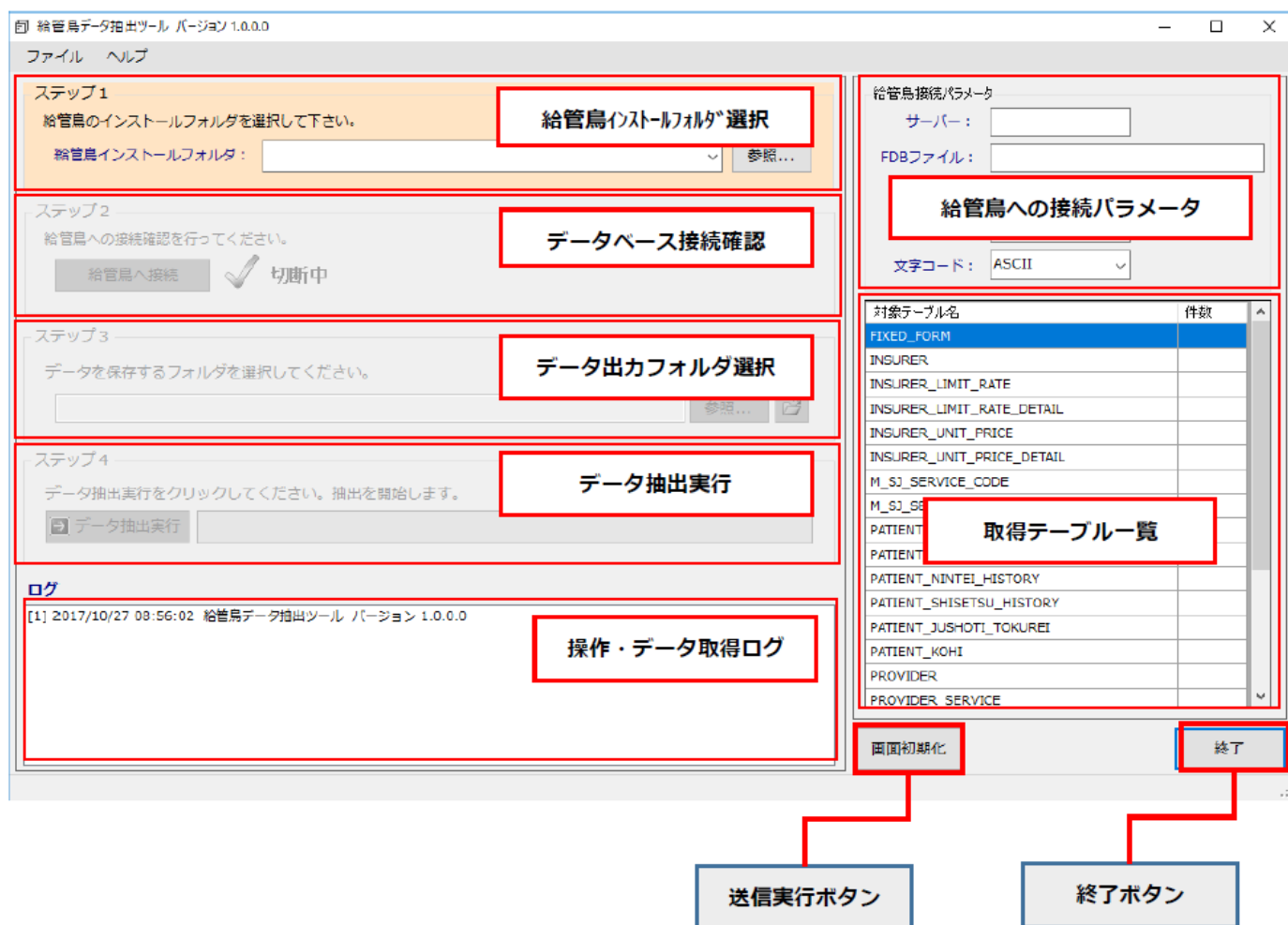
下記 URL からツールのダウンロードしてください。

デスクトップ等のわかりやすい場所にダウンロード後、[qkan-cloud-extraction.zip]をダブルクリックしてから、[給管鳥]→[実行ファイル]の順に開くと[Qmigration.exe]があるので、実行すると、下記画面が表示されます。

URL: 給管鳥クラウド版 データ抽出ツール [zip]

https://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/qkan_cloud/convert/qkan-cloud-extraction.zip

抽出ツールメイン画面



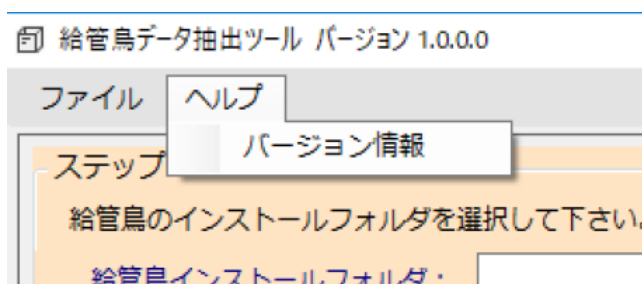
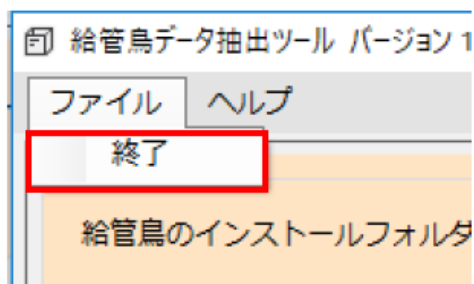
1-2-2メニュー構成

ファイル

終了: 本ソフトを終了します。

ヘルプ

バージョン情報: バージョン情報を表示します。



2基本操作

2-1 給管鳥(標準インストール)からのデータ抽出

PCに、給管鳥7や給管鳥8がインストールされている場合、以下の4ステップでデータ抽出が終了します。

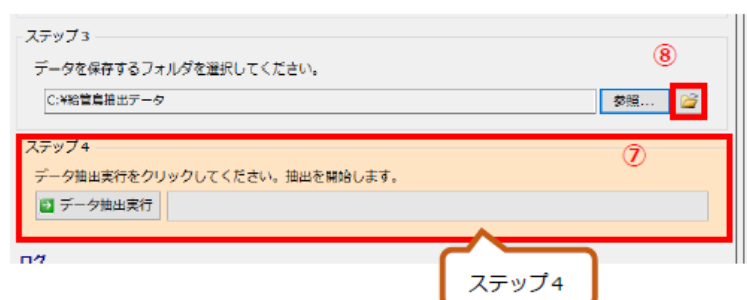
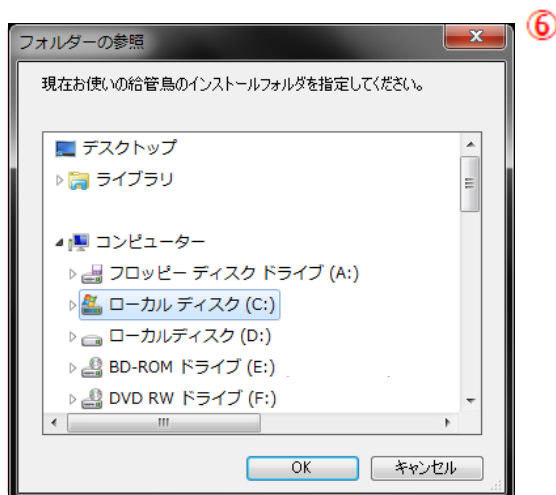
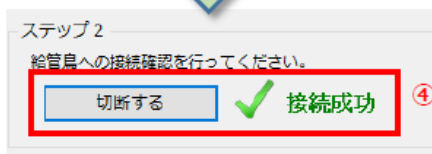
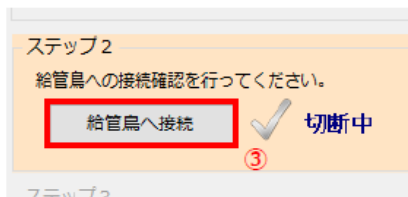
※

「標準インストール」とは、給管鳥 7 や給管鳥 8 を PC 一台で運用しており、Cドライブ直下に給管鳥フォルダが一つ存在する場合です。

給管鳥のバージョンが複数インストールされている場合や、給管鳥を複数台の PC で共有していて、尚且つ別の PC をサーバ PC として運用しているなどの場合は、＜2-2標準的なインストール以外でお使いの場合＞をご確認ください。

ステップ	処理概要	操作
ステップ1	給管鳥(オンプレ版)のインストールフォルダを選択します。	PCに給管鳥7もしくは給管鳥8のいずれかをインストールされている場合は、自動で対象フォルダが選択されます。 両方インストールされている場合、データを抽出したい対象フォルダを選択してください。
ステップ2	給管鳥(オンプレ版)のデータベースへの接続確認を行います。	接続確認ボタンをクリックして、給管鳥(オンプレ版)のデータベースへの接続確認をしてください。
ステップ3	抽出データを保存するフォルダを選択します。	抽出したデータを保存する場所を選択してください。
ステップ4	データ抽出を実行します。	[データ抽出実行]ボタンをクリックすることで指定場所に抽出データが保存されます。

データの抽出



1. 給管鳥インストールフォルダを選択します。
Cドライブ直下を検索して、給管鳥フォルダが一つのみ存在する場合は、自動で給管鳥フォルダが選択されます。
その後、【ステップ1】が確定(非アクティブ化)され、②に処理が移ります。

2. ③[給管鳥への接続]をクリックして、
給管鳥データベースへの接続を確認します。

④接続が成功するとボタンの表示文字が[切断する]に変更され、「切断中」から「接続成功」と文字が変更されます。その後、[3.]に処理が移ります。

切断する場合は、[切断する]をクリックしてください。

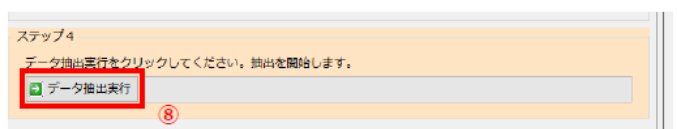
3. 抽出したデータを出力するフォルダを選択します。
⑤の[参照]をクリックしてください。

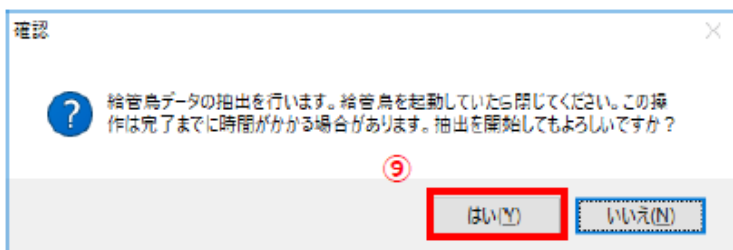
⑥にあるフォルダ参照画面が表示されますので、
PC内のフォルダを選択してください。

⑦フォルダボタンをクリックすると選択したフォルダが開きます。

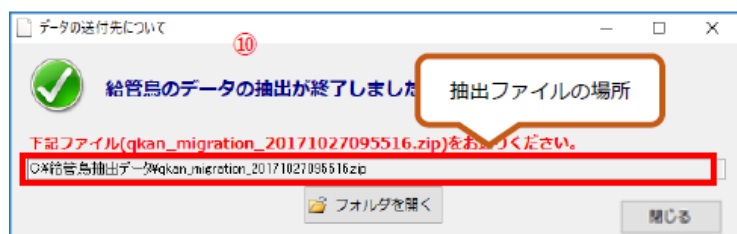
※デスクトップ等のわかりやすい場所を指定してください。

4. ⑧[データ抽出実行]をクリックしてデータ抽出を実行します。



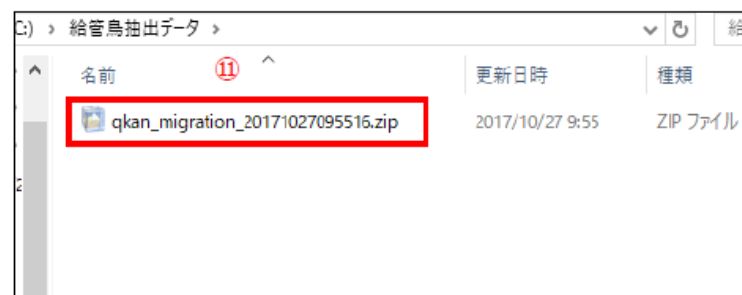


⑨確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックして処理を進めます。



⑩データ抽出に成功すると、抽出後のZipファイルの場所が表示されます。

[フォルダを開く]をクリックすると、Zipファイルが格納されているフォルダが開きます。



⑪抽出データは、下記名称で作成されます。

ファイル名:「qkan_migration_[抽出した日時].zip」

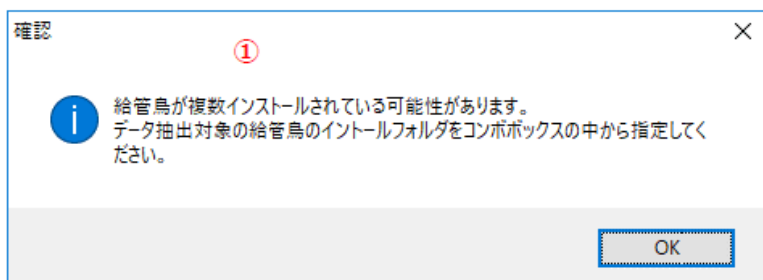
2-2標準的なインストール以外でお使いの場合

前述の標準的なインストールとは違った運用方法をされている場合に、本節をご確認頂き、操作を行ってください。

2-2-1給管鳥が複数インストールされている場合

お客様のパソコン内に給管鳥が複数インストールされている場合、Cドライブ直下に複数の給管鳥フォルダが存在します。

【ステップ1】にて、給管鳥インストールフォルダに複数のフォルダが候補として表示されますのでデータ抽出対象の給管鳥フォルダを選択してください。



①本ソフトの起動後に、図のようなメッセージが表示されます。

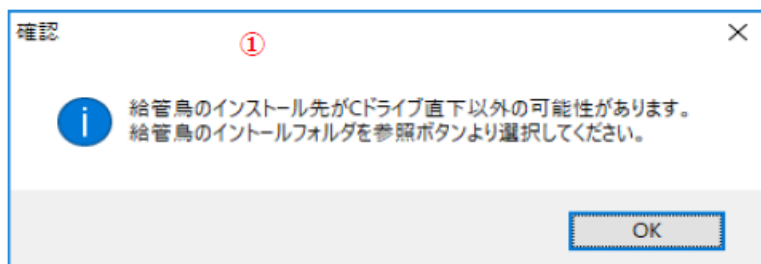


②【ステップ1】にて、「給管鳥インストールフォルダ」のコンボボックスに検索した給管鳥フォルダが表示されます。データ抽出対象の給管鳥フォルダを選択してください。

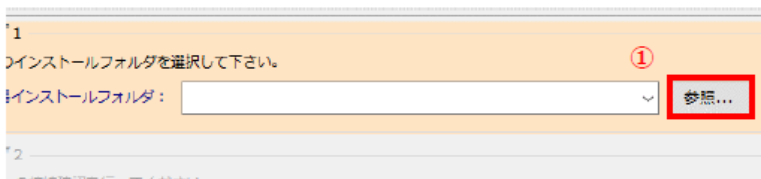
2-2-2給管鳥フォルダがCドライブ直下以外に存在する場合

給管鳥フォルダが、Cドライブ直下以外に存在する場合、【ステップ1】にて「給管鳥インストールフォルダ」の候補は表示されません。

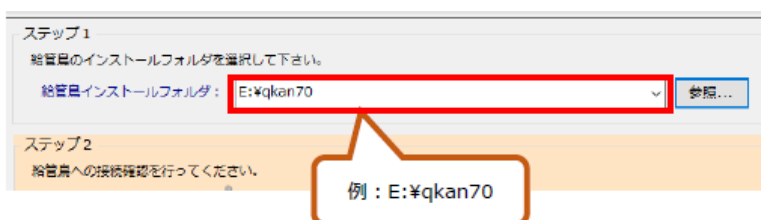
その場合は[参照]をクリックして、対象の「給管鳥フォルダ」を選択して下さい。



1.
本ソフトの起動後に、図のようなメッセージが表示されます。

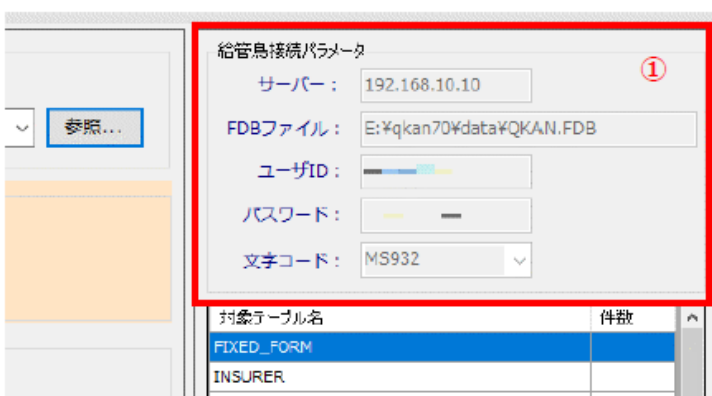


2.
左図の[参照]をクリックして対象の給管鳥フォルダを選択してください。



2-2-3給管鳥をインストールしたPCの1台をデータベースサーバとして利用している場合

給管鳥をインストールしたパソコンを複数使用されており、そのうちの1台をデータベースサーバとして利用している場合、【ステップ1】にて、接続先がデータベースサーバとなっているか確認してください。



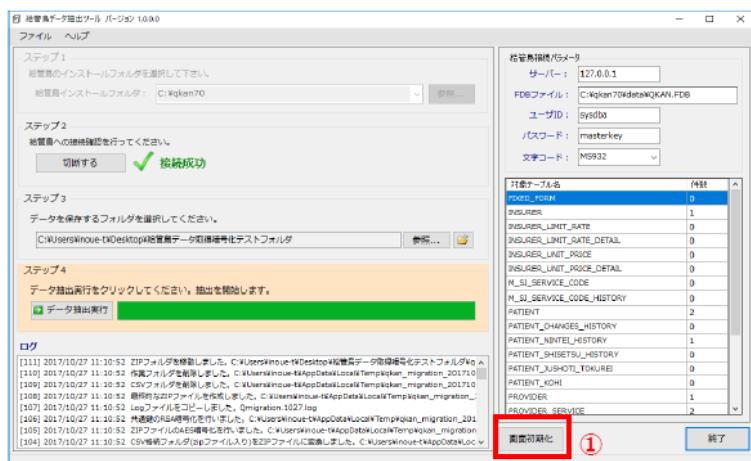
【ステップ1】にて給管鳥フォルダを選択後、画面右の[給管鳥接続パラメータ]にデータベースへの接続情報が表示されます。

データベースサーバとなっているPCのIPアドレスが指定されていることを確認して下さい。

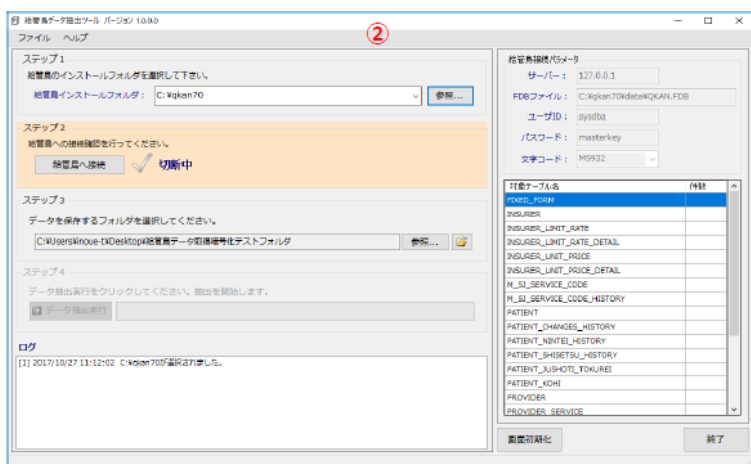
このデータは、本ソフトが動作しているパソコン内の給管鳥フォルダ内にある「property.xml」を読み込んで表示しています。

2-2-4画面を初期化する

データ抽出後、もう一度操作を行う場合は、本ソフトを再起動するか、画面下部にある[画面初期化]をクリックしてください。
非活性化されている部分の解除や、データベースからの切断が行われます。



1. [画面初期化]ボタンをクリックします。



- 左図の用に画面が初期化されるので、
[1.]から再度処理を行ってください。